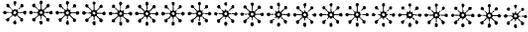


橋本克巳氏

勲三等に叙せられる



資 料 室

元地質調査所資料課長の橋本克巳さんが 昭和52年秋の叙勲で 勲三等瑞宝章を授与され 11月9日に伝達式が行なわれました そのあと 地質調査所に見えられ 所長はじめ関係者に挨拶されました。

今回の受賞に対し 心からお祝い申し上げます。

氏は 昭和7年3月 東京帝国大学理学部地質学科を卒業後 陸地測量部に入りましたが その後昭和14年商工省に配置換えとなり 主として地質調査所において活躍されました。当初は国内油田開発のための基礎調査を行なっておられましたが 昭和17年から陸軍省の要請に応じて スマトラ地域の油田開発のための基礎調査国内の東山油田坑道採油計画立案など 第二次大戦前後の我国の燃料資源確保に大きな貢献をされております。

とくに 当時 すでに国際的な技術水準の知識をもっておられた氏は 世界的大企業である B. P. (ブリティッシュ ペトロリアム社) の残した膨大な資料を解析し その技術を吸収して油田開発にあたり大きな成果をあげられています。また 当時草創期にあった有孔虫による地層対比 物理的地層解析手法などにより含油層の発見にあたるなど油田開発計画に対して 常に先導的役割を



橋本克巳氏

果たしておられます。そして 昭和37年には『南スマトラ堆積盆地について——とくにその集油褶曲の総括的研究』と題し スマトラ油田群における地質構造的解明と石油賦存の可能性を論じた発表により 学位が授与されております。一方 昭和8年から石油技術協会会員として活躍し とくにその機関誌の編集にあたるなどの功績により 昭和38年 同協会会長から表彰状を受けています。

昭和21年から24年まで福岡出張所長 さらに27年まで地質相談所長歴任の後 昭和27年から昭和40年退官までの13年間は 戦災によって90%以上焼失した資料図書館の再建にあたられ 国内外の関連機関と広く接触した結果 昭和40年には国内外740機関(内 外国機関100)と交流し図書8,000 地質図等8万点以上と拡大し 我国最大の地球科学資料センターとしての基礎をきずいた功績は大きく評価されています。

氏によって行われた「地学文献目録」「日本鉱産誌」全12巻などの編集出版に対する手腕は退官後の地熱調査会においても生かされ 豊富な学識経験により『地熱』などの機関誌発行などにおいて 学界 業界に対して大きな貢献がなされており 現在もおお御活躍中でございます。

最後になりましたが 今回の受賞に重ねてお祝い申し上げますと共に 御夫妻の今後の御健康をお祈り申し上げます。

現住所 ☎235 横浜市区磯子区洋光台5-4-22-202
☎(045) 773-4729



橋本克巳氏に授与された勲記